

2006.06.13

報道メモ

株式会社アーネット

「自社開発の遠隔講義システムを利用したマルチメディアコンテンツの収録・配信事業」開始の件

1. 始めに

株式会社アーネット(岡田安人社長、町田市 042-732-5114)は 2000 年に会社創設以来、電気通信大学三木哲也教授の指導を受け、独自方式の「P4Web ライブ e ラーニングシステム」の開発、販売を行ってきました。

16 年度には経済産業省・中小企業庁の「中小企業・ベンチャ - 挑戦支援事業のうち実用化研究開発事業補助金」を得て

「理系高等教育向けリアルタイム遠隔教育システムの高度化・汎用化」

の開発を達成し、昨年 8 月に新モデル

「P4Web- ライブ e ラーニングシステム」

として発売致しました。

昨年暮には東京都に経営革新計画

「自社開発の遠隔講義システムを利用したマルチメディアコンテンツの収録・配信事業」

を提出し 12 月に承認「17 産労商支第 523 号」を頂きました。

この承認を受け、当事業の第一弾として、3 月 14 日、15 日に千葉大学主催で開催された

APEC 公式国際シンポジウム「国境を越えた交流に果たす APEC の役割」*

を 2 日間に涉り、国立情報学研究所 学術情報ネットワーク (SINET) **経由で、APEC 加盟 21 カ国の各国 APEC 関連機関にライブ配信致しました。

引き続き 千葉大の要請でオンデマンド配信を致しております。***

*、*** <http://www.chiba-u.ac.jp/e>

** <http://www.sinet.ad.jp/>

ご参考

APEC としても初めての試みということで、事前に各国政府機関 130 ヶ所に
「As an innovative attempt, we wish to try a real-time transmission of the Symposium's deliberation.
We would very much appreciate your cooperation in this novel approach.」

とご紹介頂き

「APEC 初のこのライブ配信、オンデマンド配信を 21 ヶ国に先駆けてできたことは、
日本がこれからイニシアチブを取る上で大変重要なことであったと存じます。」

と千葉大の先生方には大変喜んで頂いております。

2 日間合計 9 時間のシンポジウムの様子が会場に行く以上にリアルにご覧いただけます。

2. サービスについて

自社開発のリアルタイム遠隔講義システム「P4Web」の特徴を生かした
マルチメディアコンテンツの収録・配信事業を開始する。
お客様にとって、初期投資なしで、リーズナブルな価格で、世界で唯一の
情報伝達力・臨場感のあるマルチメディア・コンテンツシステムを利用頂く。

当社は、平成 12 年の会社設立以来、教室の講義をそのままの状態配信し、教室と同じ時間に遠隔地で受講することができるリアルタイム遠隔講義システム「P4Web」を開発し、商品化に成功致しました。

従来のテキストベースのeラーニングにみられる一方的な講義イメージを一新した「P4Web」は、講師の映像と音声、レーザーポインター、スライド、ホワイトボードの5つのメディアを同期再生する事により、受講生は PC 画面上で教室最前列と同等以上の臨場感の得られる、特徴のある情報伝達力・臨場感を持つ、マルチメディアコンテンツ作成・配信システムです。

「放送番組のインターネットでの配信」、「ネット各社の映像配信」など話題は豊富ですが、これらサービスの場合の「映像のみのコンテンツ配信」ですが、当社サービスは上記P4Webの特徴を生かし、特定マーケットを狙って、大掛かりなシステムでは手の届かない、小回りの効く使いやすいライブラリ・センターとして、最小のコストで多くの人に「P4Web」を使って頂き「P4Web」のすばらしさを体感して頂きます。

また、コンテンツをブロードバンド環境のみならず、64Kbps のモバイル並の環境でも受信できる、通信環境に配慮した総合設計とすることで、受信可能エリアを全国あるいは世界レベルへ広げる。

通常のコンテンツに比べポテンシャル顧客が格段に拡大するので、顧客のビジネス上のメリットも大です。

3. サービス内容 および開始時期

既に第一弾として APEC 国際シンポジウムの配信を開始しておりますが、6 月 1 日より本格的に ASP サービスを開始致します。

お客様のコンテンツを有料で預かり、不特定多数あるいは有料会員へ向けて配信致します。お客様の HP からコンテンツへの LINK も可能です。

例:千葉大 APEC 国際シンポジウム

協会、団体など特定のグループメンバーへ向けた配信も可能です。

学会発表、講演会、講習会など……講義・講演スタイルそのまま配信可能です

以上のサービスに伴い

- ・収録のお手伝い
- ・収録場所の提供(収録スタジオ)
- ・収録機器のレンタル

などの付加サービスもご用意しております。

4. お問い合わせ先

〒194-0013 東京都町田市 原町田 2-13-2

株式会社 アーネット

代表取締役社長 岡田 安人

電話 :042-732-5114

FAX :042-732-5118

e-mail :p-info@earnnet.co.jp

URL :http://www.earnnet.co.jp

5. P4Web- ライブ eラーニングシステムについて

教室での対面授業・学会での発表・講演を、講義講演スタイルをそのまま、人手を介さず自動的に、インターネットで数百人の受講生にライブ同時配信できます。ライブ配信終了即自動オンデマンド化できます。

マルチメディアコンテンツの実時間自動生成器としてもお使い頂けます。市販のLMSとの組みあわせで、従来のトレーニング主体のeラーニングに加え、演習や対面グループ討論以外の大半の教室での対面講義をライブオンデマンドで取り入れる事が可能です。

リメディアル教育、都市型大学院などの教育現場のほか、自治体市民講座、生涯学習の手段として、また日々変化し続けるビジネスの場においても、コストパフォーマンスの良いビジネスコミュニケーションツールとして幅広く活用できます。国立工科系 12 単科大学大学院単位互換、NIME 公開講座、千葉大学 APEC 国際シンポジウムなどでお使いいただいております。

上記 URL よりデモサイトをご覧ください。

システムの特徴

1. 専用のレーザーポインタ - を軸に

講師映像音声、 スライド、 電子ホワイトボード、 ポインター位置情報と複数メディアを同期化・マルチメディア化しており、その豊富な情報量故に、理系大学院でも単位が出せ、学会、講演会などでもこれら機能を生かして、有効にお使い頂けます。

2. **ポインター位置情報**を大きな矢印で表示しますので、今説明している箇所を的確に受講者が把握できます。上記 1 と相俟って、受講者は、**教室最前列受講同等それ以上の、高臨場感、高情報取得量、集中度で受講**できます。

3. **初期投資、維持費ともに廉価**にすべく、全体のシステム設計に工夫を凝らしましたので、運営主体、講師、受講生 3 者いずれにとっても経済的、時間的なコストを抑えた、現実的なシステムになっております。

4. TV会議ですとほぼ 20 人止まりですが、P 4 W e b は**インターネットで同時 200 人をカバー**できます。

5. インターネット故、日本中、世界中で無理なくライブ、オンデマンド受信可。**発信地の自由度も大**です。

以上